

Against Medical Advice 自己責任による診療拒否

医師の推奨する治療方針に反し、途中で帰宅してしまう患者を discharge against medical advice (AMA)と呼ぶ。患者は自分の治療を拒否する権利も保証され、AMA 自体は非難されない。医療者はその価値観を最大限尊重する必要がある。医療者が陰性感情を持つと共感的態度にならず、後でトラブルになりやすく、中立的な姿勢が必要だ。しかし患者の希望を優先する前に、医療者として適切な評価を行い、そのプロセスを記載しなければ、医療者側に非があったとみなされる。

AMA の原因は患者だけにあらず

救急外来患者のうち1~3%が AMA と報告されており、非特異的な胸痛や腹痛、外傷などが受診時の主訴として多い。AMA の理由は、症状が消失した、出張・旅行中で滞在時間に制限がある、病院受診を発覚させたくない、家族・ペットの面倒を見なければならない、など様々である。AMA のリスク因子として若年男性、経済的困窮、薬物依存などがある。一方で、待ち時間や滞在時間の長さが AMA の主な理由になることもあり、適切なスタッフ配置や待ち時間への配慮、説明などで防ぎ得るケースがある。

救急外来から帰してはいけない場合

患者が AMA を言い出した際に、受け入れてはいけない場合がある。それは自傷他害の恐れがある場合と、**判断能力(capacity)が欠如**している場合だ。治療方針を自己決定するのに十分な判断能力があるか(Decision-Making capacity)を評価するには、次の4要素を満たす必要がある。さらに救急外来では患者の capacity を損なう可逆的要因(ショック、発熱、低酸素、血糖異常、強い疼痛、不安など)がないかも評価が必要である。

Decision-Making capacity の4要素と確認方法

Communicate 治療の希望を伝えることができる

質問：我々の推奨する治療を提供してもよいですか？

Understand 現状や治療の選択肢を理解できる

質問：今日はどこが悪くて来られたのですか？我々が提供しようとする検査や治療、それ以外の選択肢とそれを選択した際のリスクについて、あなたの言葉で説明してもらえますか？

Appreciate 選択により起こりうる結果を認識できる

質問：この治療や検査を行わないと、どういう状態が生じうと思いますか？

Reason なぜその選択をするのか説明できる

質問：どうして我々が推奨する治療を受けない、という選択をしたのですか？

※認識不足で、後から患者や家族に「まさか死ぬ病気だとは思わなかった」と言われては、医療者の落ち度とみなされるので、最悪の事態も含めて明確に説明しておく必要がある。

AMA のカルテ記載、診療拒否同意書の作成

患者が良くない経過をたどった場合、家族が納得していないとトラブルの元になるので、本人の capacity が保たれていても、AMA の対応には家族・友人なども巻き込み、可能なかぎり説得を試みるべきだ。家族・友人への連絡を患者に拒否された場合は、その過程もカルテに記載する。

患者の主張が変わらず救急外来を去る際には、説得を試みたプロセスや説明内容をカルテに十分に記載しておく。病院として、診療拒否同意書を作成する。前述の評価事項に加え、患者が医療を拒否した理由、家族なども交えて説得した経緯、治療しない場合のリスク、代替案（痛み止めだけ処方するなど）とそのリスク、再受診するべきタイミング、説明時の同席者名（医師名のみならず看護師名も）などもカルテに記載する。医師個人が対応するのではなく、あくまでも病院として、必ず複数の医療従事者(責任当直医師、責任当直看護師、事務当直など)で対応する。釈然としない気持ちがあってもプロとして決して言葉に出さず、再来院した際には快く受け入れることを伝えるのも重要である。

自主退院に関する文書

1. この文書は_____ が姫路赤十字病院を担当医の助言に反して退院する(または代理意思決定者が患者を退院させる)ことを証明するものである。
2. 下に署名した医師は私(患者)が現時点での退院に伴う身体的・精神的リスクを説明した。私は質問の機会を与えられ、すべての質問は十分に回答された。
3. 私はこの退院に伴うリスクおよび実際に生じた結果に対する責任を負い、姫路赤十字病院に一切の法的責任を追及しないことを保証する。
4. 私は上記を読み、十分に理解したことを証明する。

患者(または代理意思決定者)署名 _____

患者以外により署名された場合、患者との関係 _____

証人署名 _____

日付 _____ 時刻 _____:

※患者が未成年、あるいは他の理由で決定権を有さない場合を除き、患者の署名が必須である。

患者(または代理意思決定者)は署名を拒否した。

私(医師)は現時点での退院に伴うリスクを説明し、質問の機会を与え、すべての質問に回答した。患者(または代理意思決定者)は説明回答内容を十分理解したものと判断した。

医師署名 _____

日付 _____ 時刻 _____:

本書類は診療録に保存される。